

飯田市国民健康保険第3期保健事業実施計画（データヘルス計画） （第4期特定健康診査等実施計画）の概要

1 背景・目的、計画の位置付け等 素案1ページ

平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「計画」の作成、公表、事業実施、評価等を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされた。

国の指針において、市町村国保は、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）を策定したうえで、保健事業の実施・評価・改善を行うことが求められている。

第3期の計画期間は、令和6年度から令和11年度までの6年間である。

2 第2期（平成30年度～令和5年度）の評価と課題 素案21ページ

中長期目標として、

- ①脳血管疾患 …… 死亡率は男女ともに目標値以下を達成。
- ②虚血性心疾患 …… 死亡率は男性は目標値以下を達成、女性は目標値には達していないが改善傾向。
- ③糖尿病性腎症 …… 新規透析患者数は減少しているが、人工透析数割合は増加傾向。

短期目標として、

- ①高血圧者の割合 …… I度以上、II度以上共に増加傾向。
- ②脂質異常者の割合 …… LDL160以上の割合が増加傾向。
- ③糖尿病者の割合 …… 目標値以下を達成。
- ④メタボリックシンドローム該当者及び予備群割合 …… 男女とも割合が増加傾向。

特定健診受診率は目標50%に対して42.5%、特定保健指導実施率は目標75%に対して72.3%

3 第3期における健康課題の明確化 素案24ページ

保健事業の実施にあたって改善すべき項目は、「①脳血管疾患の重症化予防（高血圧の改善）」、「②虚血性心疾患の重症化予防」、「③糖尿病性腎症の重症化予防」、「④肥満・メタボリックシンドロームの重症化予防」の4つがあり、飯田市の割合が長野県や同規模市町村と比べて数値の高い①、③と増加傾向にある④の重症化予防に取り組む。

医療費に占める割合	慢性腎不全 (透析あり)	慢性腎不全 (透析なし)	脳梗塞、 脳出血	狭心症、 心筋梗塞	糖尿病	高血圧	脂質異常症
飯田市	4.28%	0.35%	2.68%	0.89%	6.43%	3.85%	2.35%
同規模市	4.16%	0.29%	2.08%	1.42%	5.79%	3.28%	2.15%
長野県	4.37%	0.22%	2.19%	1.23%	5.76%	3.27%	2.15%
国	4.38%	0.29%	2.07%	1.46%	5.45%	3.06%	2.11%

4 特定健診・特定保健指導の状況、目標 素案17ページ、32ページ

第2期計画において、令和5年度の特定健診受診率50%を目標としましたが達していない。対象者への周知の他にハガキ、電話、訪問による受診勧奨を行い、受診率の向上に努める。また、特定保健指導は、現在の75%以上を維持できるように、生活習慣の改善に向けて取り組む。

	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11
特定健診 受診率	40.0%	42.3%	31.7%	41.0%	42.5%	目標 50%	47.5%	50.0%	52.5%	55.0%	57.5%	60%
特定保健指導 実施率	78.9%	79.4%	72.2%	76.0%	72.3%	目標 75%	75%以上を維持する					

5 飯田市の保健事業 素案27ページ、29ページ

当市は、高血圧が課題となっているため、特定健診集団健診の際に随時尿検査を行い、その結果を保健指導に活かしていく。また、35～39歳の被保険者に若年健診の受診勧奨を行い、メタボリックシンドロームの重症化予防に取り組む。